

基本目標 1 「地域における子育て支援の充実」

国の方針	【こども大綱】 ○こどもの誕生前から幼児期までのこどもの成長の保障と遊びの充実 ○子育てや教育に関する経済的負担の軽減 ○居場所づくり ○多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり（遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着、こどもまんなかまちづくり等）	
現行計画の方向性	・ 障害児保育や乳児保育など、安心して子どもを預けることができる多様な保育サービスの充実 ・ 質の高い保育サービスの提供 ・ 子どもと子育て家庭に対する経済的支援の充実 ・ 子どもの学習支援やネットワークづくり、子育てに関する情報提供等の支援	
現在の取り組み	【令和5年度事業評価シート】 1 保育サービスの充実 ○障害児保育事業：保育士不足により不十分 ○乳児保育の実施 ○民間保育サービスの活用の促進：萩原学童クラブの整備 2 子育て支援のネットワークづくり ○地域の力を生かした子育て支援 ○地域未来塾事業 ○子育て支援サービスに関する情報提供：子育てガイドブックの配布 ○家庭児童相談事業：関係機関との情報共有 3 経済的支援の充実 ○保育所保育料の減免 ○児童手当の支給 ○子ども医療費の助成：高校生相当まで助成を拡大	
アンケート調査結果	主な内容 （ ）内は前回調査（H30 年度）との比較	番号
	母親の就労状況：就労している（フルタイム）が最多で 37.8%（+9.3pt） 父親の就労状況：就労している（フルタイム）が最多で 85.8%（+6.7pt）	問6
	利用している教育・保育事業： 認可保育所 46.7%（△13.0pt）、認定こども園 30.3%（+26.0pt）、幼稚園 19.1%（△12.6pt）	問7-1
	放課後の時間を過ごさせたい場所： 小学校低学年 自宅 52.3%（△15.3pt）、学童保育 36.7%（+9.3pt）、習い事 33.5%（△9.9pt） 高学年 自宅 64.5%（△6.3pt）、習い事 42.8%（△11.6pt）、学童保育 20.8%（+3.4pt）	問17 問18
	必要な情報：子どもの遊び場や施設 60.0%、手当や公的助成 53.6%、子どもの発達や病気 49.4%	問25
	市の子育て支援の取組に対する満足度： 「満足」「まあ満足」 子どもや母親の健康の確保 42.7%、食育 39.5%、保育サービス 29.4% 「不満」「やや不満」 小児医療体制 51.0%、経済的支援 43.8%、子育てにやさしい生活環境 41.9%	問27
	市の子育て支援の取組に対する重要度： 「重要」「まあ重要」 小児医療体制 87.6%、経済的支援 87.2%、子育てにやさしい生活環境 82.2%	問27
	子育てをしていく上で、あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等： 就学費用の軽減 75.2%、悩み相談 43.2%、病気等の際に一時的に子どもを預けられること 38.5%	問28
関連計画	【第4次茂原市地域福祉計画】 ・ 総合的・重層的な支援体制等の充実 ・ 総合相談体制の確保（重層的な相談支援体制の構築）	
次期計画に向けた課題	(1) 質の高い保育・幼児教育の提供 ・ 低年齢児保育、認定こども園化など教育・保育サービスの充実により保護者の多様なニーズに対応 ・ 障害児保育の受入体制の整備 (2) 子育て支援のネットワークづくり ・ 利用しやすい事業の工夫や関係機関・団体との連携、事業の周知を図るための情報提供の充実 (3) 総合的な支援体制等の充実 ・ 子どものライフステージに応じた切れ目のない相談・支援 ・ 関係機関との連携、情報共有 (4) 経済的支援の充実 ・ 次代を担う全ての子どもの育ちを支える基礎的な支援 (5) 居場所や多様な遊び・体験、活躍できる機会づくり ・ 自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・遊びの機会や場づくり ・ 学童保育の受皿の確保 ・ 学童クラブ以外の地域の子どもの多様なニーズへの対応	

茂原市子ども・子育て支援事業計画 課題シート

基本目標2「母親と乳幼児等の健康の保持及び増進」

国の方針	【こども大綱】 ○妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療の確保 ○こどもが安心して過ごし学ぶことのできる質の高い公教育の再生等 ○小児医療体制、心身の健康等についての情報提供やこころのケアの充実	
現行計画の方向性	・各種健診及び相談支援、産前産後のサポート等、子育て環境の整備 ・子どもの成長過程に応じた食育の推進 ・小児医療体制の整備 ・休日や夜間の対応等、地域の医療体制の確保	
現在の取り組み	【令和5年度事業評価シート】 1 子どもや母親の健康の確保 ○母子健康手帳等の交付：保健師や助産師の全数面接、産科医療機関等との連携 ○産後ケア事業：授乳指導等 ○産前産後サポート事業 ○ママ・パパ教室の開催：助産師相談、育児休業制度の説明、父親向けの講話の開催 ○妊産婦訪問 ○乳幼児訪問指導の実施：継続支援の実施、未受診者への受診勧奨 ○乳幼児健康診査の実施 ○乳幼児健康相談の実施 ○乳幼児発達支援の充実 ○歯科健康診査等の実施 2 食育の推進 ○離乳食指導 ○保育所給食の推進：食育計画に沿った実施及び、子どもの食生活の相談支援 ○学校給食の推進：バランスのよい学校給食の提供、食に関する指導 ○健康生活推進員の活動：乳幼児や学童期への食の啓発 3 小児医療体制の確保 ○地域医療体制の整備 ○休日・夜間医療体制の整備 ○二次救急医療体制の整備	
アンケート調査結果	主な内容 () 内は前回調査(H30年度)との比較	番号
	子育てに関して、気軽に相談できる人： 配偶者・パートナー75.8% (+3.9pt)、子どもの祖父母 61.7% (△3.5pt)、 友人・知人 61.3% (△2.2pt)	問 21
	公的制度やサービス： 利用している・利用したことがある 児童手当 91.5% 保健センター49.7% 児童扶養手当 30.1%	問 22
	必要な情報：子どもの遊び場や施設 60.0%、手当や公的助成 53.6%、子どもの発達や病気 49.4%	問 25
	市の子育て支援の取組に対する満足度： 「満足」「まあ満足」 子どもや母親の健康の確保 42.7%、食育 39.5%、保育サービス 29.4% 「不満」「やや不満」 小児医療体制 51.0%、経済的支援 43.8%、子育てにやさしい生活環境 41.9%	問 27
	市の子育て支援の取組に対する重要度： 「重要」「まあ重要」 小児医療体制 87.6%、経済的支援 87.2%、子育てにやさしい生活環境 82.2%	問 27
次期計画に向けた課題	(1) 子どもや母親の健康の保持 ・産後ケア事業の提供体制の確保、養育者のメンタルヘルスに係る取り組み等、産前産後の支援の充実と体制強化 (2) 食育の推進 ・家庭、学校、地域等が連携した食育の取り組み (3) 小児医療体制の確保 ・産前産後から子育て期を通じた切れ目のない継続的な支援 ・情報提供ができる体制整備	

茂原市子ども・子育て支援事業計画 課題シート

基本目標3「子育てを支援する環境の整備」

国の方針	【こども大綱】 ○共働き・子育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大 ○犯罪被害、事故、災害から子どもを守る環境整備	
現行計画の方向性	・子育てに対する意識の啓発や、働き方の見直しに関する情報提供 ・子どもや子ども連れの保護者が安心して利用できる公共施設等の整備 ・子どもが犯罪の被害に遭わないための実践的な訓練	
現在の取り組み	【令和5年度事業評価シート】 1 職業生活と家庭生活との両立の支援 ○男女の働き方の意識の是正：講演会の開催、パンフレット配布 ○仕事と子育ての両立のための啓発・広報の推進：パンフレット配布、市公式ウェブサイトによる情報発信 2 子育て世帯にやさしい生活環境の整備 ○子育て世帯にやさしい公共施設等の整備 3 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 ○防犯講習の実施	
アンケート調査結果	主な内容（ ）内は前回調査（H30年度）との比較	番号
	子育てをする中で、有効だと思われる支援： 仕事と家庭環境の両立 50.1%、保育サービスの充実 42.5%、子育てしやすい住環境の充実 41.7% 子どもを対象とした犯罪・事故の軽減 17.9%	問 20-1
	市の子育て支援の取組に対する満足度： 「満足」「まあ満足」 子どもや母親の健康の確保 42.7%、食育 39.5%、保育サービス 29.4% 子どもを犯罪被害から守る活動 17.0% 「不満」「やや不満」 小児医療体制 51.0%、経済的支援 43.8%、子育てにやさしい生活環境 41.9%	問 27
	市の子育て支援の取組に対する重要度： 「重要」「まあ重要」 小児医療体制 87.6%、経済的支援 87.2%、子育てにやさしい生活環境 82.2% 子どもを犯罪被害から守る活動 77.2%	問 27
次期計画に向けた課題	（1）職業生活と家庭生活との両立の支援 ・仕事と家庭の両立の支援 ・働き方に関する啓発 （2）子育て世帯にやさしい生活環境の整備 ・公共施設等のバリアフリー化 ・子どもや乳幼児等の親子連れが安心できる公共施設等の整備 （3）子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進、自殺対策の推進 ・発達の程度に応じた体系的な安全教育の推進 ・保護者への子どもの安全に関する周知啓発	

茂原市子ども・子育て支援事業計画 課題シート

基本目標4「配慮と必要とする子どもや家庭への支援」

国の方針	【こども大綱】 ○こどもの貧困対策 ○障害児支援・医療的ケア児等への支援 ○児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援 ○ひとり親家庭への支援 ○こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組	
現行計画の方向性	・問題が深刻化する前の早期発見・早期対応、母子保健事業を通じた家庭状況の把握、相談体制の強化 ・被害を受けた子どもに対する細やかな対応 ・支援が必要な子どもと子育て家庭に対して関係機関の連携、支援体制の充実	
現在の取り組み	【令和5年度事業評価シート】 1 児童虐待防止対策の充実 ○要保護児童対策地域協議会の運営 ○虐待の発生予防 2 ひとり親家庭の自立支援の推進 ○ひとり親家庭等の自立、就業支援 ○児童扶養手当の支給 ○優先入居制度の活用 3 障害児施設の充実 ○自閉症及び乳幼児の発達障害への対応 ○特別児童扶養手当の支給 ○身体障害児補装具給付事業の実施 ○障害児日常生活用具給付事業の実施 ○障害児介護給付費及び障害児通所支援事業費等の支給 ○特別支援教育の推進 ○障害児の生活支援ネットワーク化の推進	
アンケート調査結果	主な内容 () 内は前回調査（H30 年度）との比較	番号
	子育てのつらさを解消するために必要なこと 仕事と家庭環境の両立 53.2%、保育サービスの充実 36.9%、子育てしやすい住環境の充実 36.0%	問 20-2
	公的支援やサービス： 利用している・利用したことがある 児童手当 91.5% 保健センター49.7% 児童扶養手当 30.1%	問 22
	現在の暮らしの状況： ゆとりがある 13.2%（+4.3pt）、普通 52.2%（△1.2pt）、苦しい 30.9%（△1.6%）	問 23
	市の子育て支援の取組に対する満足度： 「満足」「まあ満足」 子どもや母親の健康の確保 42.7%、食育 39.5%、保育サービス 29.4% 「不満」「やや不満」 小児医療体制 51.0%、経済的支援 43.8%、子育てにやさしい生活環境 41.9%	問 27
	市の子育て支援の取組に対する重要度： 「重要」「まあ重要」 小児医療体制 87.6%、経済的支援 87.2%、子育てにやさしい生活環境 82.2%	問 27
	これから子育てをしていく上で重要なこと： 修学費用の軽減 75.2%（+2.2pt）、悩み相談 43.2%（△0.9pt）、病気等の際に一時的に子どもを預けられること 38.5%（△1.8pt）	問 28
次期計画に向けた課題	（１）児童虐待防止対策及びヤングケアラー支援 ・孤立した環境の中で悩みを抱えている保護者への相談窓口の周知 ・地域住民相互での子どもを守る意識の醸成 ・関係者の情報共有と連携による早期発見・把握と必要な支援の充実 （２）ひとり親家庭の自立支援及び子どもの貧困対策の推進 ・経済的支援の充実及び教育の支援、生活の安定のための支援、保護者への就労支援等貧困対策の推進 （３）障害児施策の充実・医療的ケア児等への支援 ・地域における障害児の支援体制の強化、保育所等におけるインクルージョンの推進 ・医療的ケア児、聴覚障害児など専門的支援が必要な子どもに対して地域における連携体制の強化	